

潮汐庵

激しい雨の日は、寒さと雨から身を守る為に自分たちとは最も離れた場所の厚く頑丈な戸口を閉める。まだ肌寒い日でも、かすかな風と太陽の光を感じるために戸口を少し開ける。大きく晴れた日は太陽の暖かさをより多く感じる為に戸口を手前にずらす。暑くて仕方のない日には空間を遮断する戸口を取り払い、大きな日陰と外からの風によって涼む。日々変化する日本の気候にただ耐えるのではなく柔軟に対応する昔の人々のような暮らし方が、戸口が作り出す奥行き満ち引きによって表れる。

